

■当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	糖尿病既往乳癌患者におけるリスク、GLP-1受容体発現と臨床的意義
当院の研究責任者	那覇西クリニック 医師 滝上 なお子
他の研究機関の研究責任者	該当なし
本研究の目的	糖尿病既往患者における乳癌リスク、とりわけGLP-1受容体発現の差とリスクにおけるその意義について追及することを主目的とする。その第一段階として、糖尿病既往患者の乳癌組織と非糖尿病既往患者のそれと、サブタイプ、組織学的悪性度や増殖能やアポトーシスの状態、GLP-1受容体の発現の状態を比較する。さらに、GLP-1受容体発現の差が乳癌リスクに寄与すると仮説し、下流シグナルおよび細胞増殖因子について、上記で得られた情報と対比させ分析したい。
調査データ 該当期間	2004年5月から2017年9月までに当院で施行された乳癌手術の検体のうち、糖尿病既往症例の242例の病理標本検体を使用。乳癌組織の未染色標本を用いる。また、東北大学病院での手術検体の中から、糖尿病検体、非糖尿病検体両方の検体を研究対象として追加する。
研究の方法 (使用する試料等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上記の未染色標本を東北大学病理部にて以下の目的で染色を行う。 2. 糖尿病既往患者の手術検体を用いて免疫染色にてホルモンレセプター、あるいはHER2 expression、組織学的悪性度や増殖能やアポトーシスを、非糖尿病患者のそれらとの比較から評価する。 3. 乳癌組織におけるGLP-1受容体の発現が糖尿病既往患者において非糖尿病患者よりも多く発現しているか免疫染色を用いて分析する。 4. 乳癌組織におけるGLP-1受容体の発現と乳癌ですでに知られている増殖因子(現段階ではFGFR2のリガンドであるFGF7を想定)の発現を評価し、リスクに関連する因子を検討していく。
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	免疫染色は東北大学病院にて実施するが、本研究責任者本人が実施するため、提供はしない。
個人情報の取り扱い	得られたデータは研究を目的とし、このデータによって被験者の加療に不利益にならないよう努める。本研究により被験者の不利益は生じない。個人情報主任研究謝のみ保持し、責任をもってこれを保護することにより、個人を特定することは困難である。本研究はオプトアウトを用いており、研究概要や研究責任者については那覇西クリニックのHPIにて確認することができ、患者はいつでも参加への協力を拒否することができる。
お問い合わせ先	TEL:098-858-5557(那覇西クリニック内) 担当者: 新垣 美羽、宮里 勝也